

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	こどもヶ丘保育園根岸園
活動日時	令和7年9月5日
クラス名(年齢)	きりんぐみ(4歳児)、らいおんぐみ(5歳児)
年間テーマ	色

1.活動テーマ

〈テーマ〉

寒天神社を作ろう

〈テーマの設定理由(子どもの姿)〉

前回の話し合いで、子ども達から寒天を固めることがうまくいくように神社にお参りに行きたいとの意見が出た。外気温が高く、神社には行くことができないことを伝えると、園内に神社を作りたいという意見が出た。

2.活動スケジュール

4歳児クラスと5歳児クラスに分かれ、神社づくりについて話し合う。各クラスでイメージした神社を作る。

3.環境をデザインする

・画用紙・コピー用紙・OPPテープ・セロハンテープ・すずらんテープ・両面テープ・ハサミ・色鉛筆・平仮名表



4. 探求活動の実践

〈活動内容〉

神社のイメージ写真を見ながら、個々の神社についてのイメージを膨らましていった。各クラスで話し合いながら、壁に貼れるような神社づくりをすることになる。

園内にある様々な素材を探して用意し、それを使って神社を作る。

〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

子どもの言葉・姿	写真
<p>保育者が「どんな神社が作りたい?」と問いかけるとたくさんの案が出た為、各クラスで一つずつ作るようになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4歳児クラスは、赤い鳥居の神社、神様は人間の神様、名前は「寒天神社」 ・5歳児クラスは、灰色の鳥居の神社、神様は宇宙人、名前は「寒天神社」 <p>・イメージ写真を見た子どもが「ちょうちんを作りたい。」「鈴も欲しいな」と話す。</p> <p>・2クラスの神社が完成すると、お互いに神社を披露し、早速参拝をしていた。神社前に子どもたちが一斉に集まると、子どもが「分かった!一列に並ぼう。」と声をかけ合う。「固まりますように」と一人ずつ参拝をしていた。</p> <p>・その日の夕方に、お賽銭箱を作りたいと子どもからリクエストがあった。室内を見渡し、以前遊びで使用していた箱を賽銭箱にした。</p>	
	

5.振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

前回の活動時に休みだった子用に、神社のイメージがしやすいよう写真を準備した。休みだった子だけでなく、他児にとっても神社をイメージしやすい様子だった。

あらかじめどのように作りたいか、何が必要かを話し合っていた為、すぐに活動に取り掛かることが出来たので良かった。製作をしていく中で、子ども達の神社に対するイメージがどんどん膨らんだようで、保育者に欲しい素材を何度も伝える姿が印象的だった。